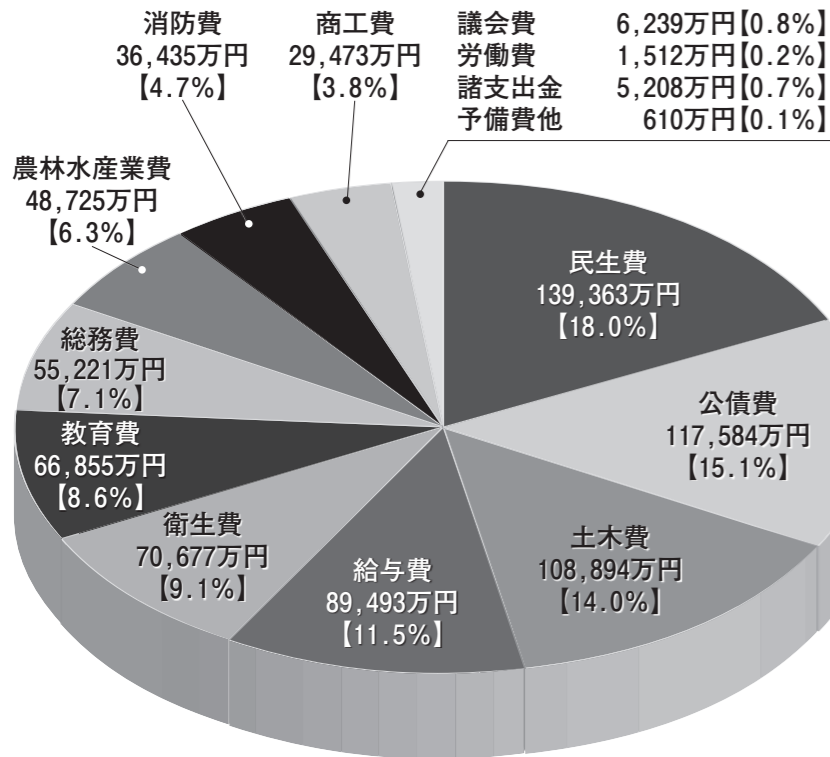


# 平成22年度 弟子屈町財政の状況

●財政状況に関するお問い合わせは  
役場企画財政課財政係 ☎482-2913 (課直通)

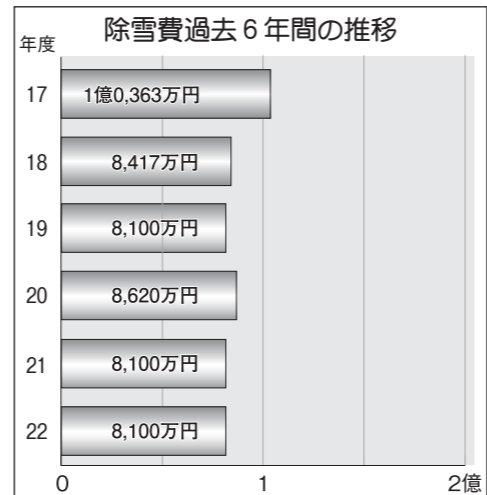
## 一般会計歳出

最終予算総額 77億6,289万円(平成21年度 95億4,984万円)



## 除雪費の推移

町内事業者のご協力により、22年度は21年度とほぼ同額で除雪業務を行うことができました。



## 補正予算 下半期(10月～3月)に補正した主な事務事業

奥オソツベツ支線作業道工事、摩周・仁多作業道工事	7,718万円
共生型サポートセンター整備事業補助金、共生型住居整備事業補助金	6,000万円
きめ細かな交付金事業 (全国瞬時警報システム接続外交工事・川湯敷島4号線道路改良工事・川湯保育園屋根防水改修工事・奥春別荘の保育園温泉暖房工事など)	7,049万円
住民生活に光をそそぐ交付金 (てしかがの蔵改修・小中学校および図書館の図書購入・図書館システム更新など)	2,391万円

一般会計の  
歳出を町民一人当たり  
に換算すると...

給与費(職員の給料・手当などに)	108,400円
土木費(道路・住宅の整備や除雪などに)	131,900円
公債費(借金の返済に)	142,400円
教育費(学校教育・生涯学習の推進などに)	80,900円
衛生費(医療の充実やごみ処理などに)	85,600円
民生費(福祉の充実などに)	168,800円
消防費(消防などに)	44,100円
総務費(全体的な計画や事務などに)	66,800円
農林水産業費(農林水産業の振興などに)	59,000円
商工費(商工業の振興などに)	35,700円
議会費(議会などに)	7,600円
諸支出金・労働費・予備費・災害復旧費 (財産の取得・災害の復旧・その他)	8,800円

合計すると  
**940,000円**

※平成23年3月末現在の人口  
(8,258人)で計算。

平成22年度の最終的な予算が今年3月末に確定しました。

広報4月号には今年度の予算と主な仕事を掲載しましたが、今回は平成22年度最終予算額と、下半期に補正予算を計上した主な事務事業と町債の現状などについてもお知らせします。

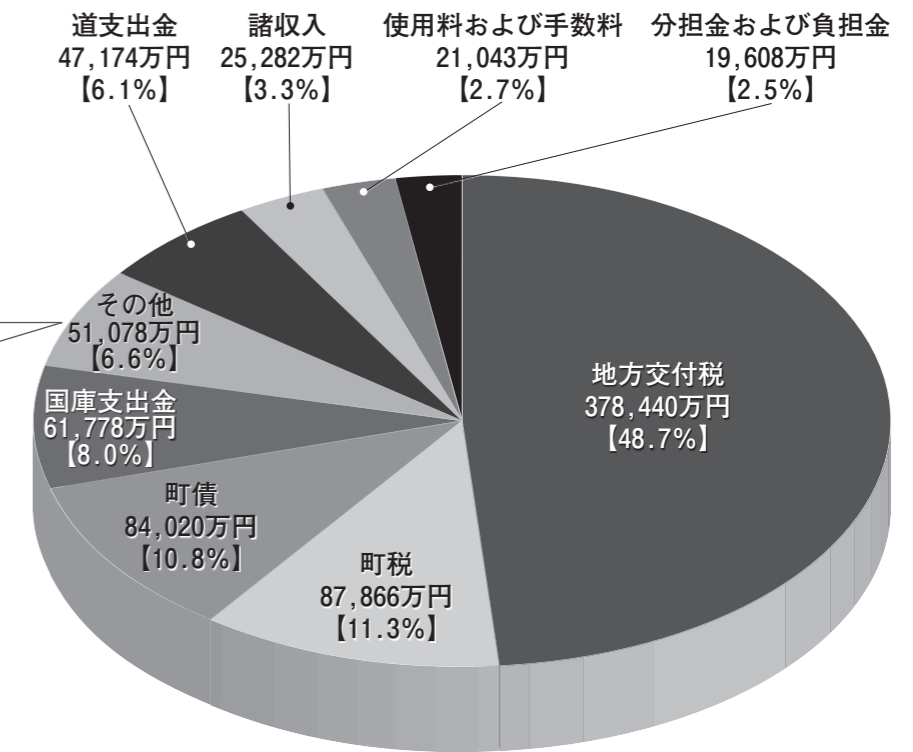
## 一般会計歳入

最終予算総額 77億6,289万円(平成21年度 95億4,984万円)

地方交付税は前年度に比べ2億2,111万円の増、平成12年度との比較では9,992万円の減となっています。

地方交付税と町税で、歳入全体の60%を占める町の重要な財源となっています。

その他内訳	
●地方譲与税	14,578万円
●利子割交付金	280万円
●配当割交付金	70万円
●株式等譲渡所得割交付金	15万円
●地方消費税交付金	9,418万円
●ゴルフ場利用税交付金	169万円
●自動車取得税交付金	2,897万円
●地方特例交付金	1,970万円
●交通安全対策特別交付金	169万円
●財産収入	5,901万円
●寄附金	1,021万円
●繰入金	6,566万円
●繰越金	8,024万円



**サマージャンボ 7月11日発売開始**

2000万 サマー 400本

7/11 同時発売 7/11 7:11~7:20

▶発売期間/7月11日(月)~7月29日(金)  
▶抽選日/8月9日(火)  
□問い合わせ先/役場企画財政課財政係 ☎482-2913(課直通)まで。  
※宝くじの収益金は明るく住みよいまちづくりに使われます。

分かりますか? — 財政用語 —

- ▼一般会計/行政運営の基本的な経費を計上した会計
- ▼特別会計/特定の歳入歳出を処理するための会計
- ▼地方交付税/各市町村が等しく行うべき事務ができるように国から交付されるお金
- ▼地方譲与税/国が国税として徴収を代行しているもの(地方道路譲与税、自動車重量譲与税など)を市町村に一律で配分するお金
- ▼国庫・道支出金/特定の目的に対して国や道から交付されるお金
- ▼交付金/行政上の必要性により国から交付されるお金(地方消費税交付金、自動車取得税交付金など)
- ▼分担金・負担金/町が行う事業により、特定の利益を受ける人から徴収するお金(保育料、下水道受益者負担金など)
- ▼繰入金/他の会計や基金(特定の目的のために積み立てたお金)から繰り入れたお金
- ▼元金償還額/町債に対する返済額から利息分を差し引いた金額

# 観光シーズンを前に活動が活発化

てしかがえこまち推進協議会

川湯小学校(中嶋治代校長)の児童とてしかがえこまち推進協議会の環境・温泉部(榎本浩士部会長)が5月20日、国連が全世界へ呼び掛けている植樹「グリーンウェイ2011」活動に参加し、川湯温泉地区にアカエゾマツの植樹を実施しました。

グリーンウェイ活動は「国際生物多様性の日」(5月22日)を定める国連が、地球を緑の波で覆うという目的で行っているもので、同日は世界各地で植樹が行われました。

この日は、川湯小学校の5、6年生の児童12人と、えこまち推進協議会の会員、環境省川湯自然保護官などが参加し、川湯小学校の苗畑で育てたアカエゾマツの苗木20本を川湯神社境内へ移植しました。参加した児童は、この活動を通じ豊かな自然を守っていく大切さを再認識していました。



川湯小学校の児童と参加者の皆さん

川小児童らとグリーンウェイで植樹

また同部会では6月13日、川湯温泉市街地を流れる湯川の清掃活動も実施しました。毎年行っているもので、今年は関係者ら約20人が参加。胴長を着用し、熊手などを使って熱心にごみをかき集めていました。

エコツアアでアイヌ文化を学ぶ

同協議会のエコツアリズム推進部会(池田篤英部会長)は、今年度第1回目となる「野外活動スキルアップセミナー」を6月11日に屈斜路湖畔で、初開催の「フライフィッシング体験講座」を6月4日に川湯ふるさと館などでそれぞれ開催しました。スキルアップセミナーには町民の方13人が参加。講師のアドイさんから先住民であるアイヌの知恵や生活文化、屈斜路湖にまつわるお話などを学びました。受講した方は「大変参考になった。今後もこうした取り組みには、ぜひとも参加したい」と話していました。

また、観光客として屈斜路

また同部会では6月13日、川湯温泉市街地を流れる湯川の清掃活動も実施しました。毎年行っているもので、今年は関係者ら約20人が参加。胴長を着用し、熊手などを使って熱心にごみをかき集めていました。

エコツアアでアイヌ文化を学ぶ

同協議会のエコツアリズム推進部会(池田篤英部会長)は、今年度第1回目となる「野外活動スキルアップセミナー」を6月11日に屈斜路湖畔で、初開催の「フライフィッシング体験講座」を6月4日に川湯ふるさと館などでそれぞれ開催しました。スキルアップセミナーには町民の方13人が参加。講師のアドイさんから先住民であるアイヌの知恵や生活文化、屈斜路湖にまつわるお話などを学びました。受講した方は「大変参考になった。今後もこうした取り組みには、ぜひとも参加したい」と話していました。

また、観光客として屈斜路



講師のアドイ(右)さんから解説を受ける

## 摩周湖星紀行が優良ツアーに

(株)ツーリズムてしかがが(白石悠浩代表取締役)が主催する着地型旅行商品の「摩周湖星紀行」が、第36回「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」の優良着地型ツアーに推薦されました。

神秘的湖、さらにはミシュランガイドの三つ星評価の湖である摩周湖を活用した同ツアーが北海道では唯一推薦されました。ツアーは98年からスタートしたもので、これまでも多くの観光客の皆さんが参加しています。

同社では本年度から、バスで行くツアーの他に、少人数でより高質なツアー「星紀行」を商品化し、高付加価値の着地型旅行として販売していくこととしています。

湖を訪れる釣り人を理解し、こうしたお客さまをどのように入力するかを考えると、実施された「フライフィッシング体験講座」には、主に同協議会会員らが参加。フライタイニングやキャスティングなどの講習を受講し、引き続き実際に渓流に出て釣りに挑みました。

同協議会では、今後、町民を対象とした同様のイベント開催についても実施していきたいとしています。

# 各特別会計・水道事業会計(企業)

平成22年度  
弟子屈町財政の状況

## 最終予算内訳

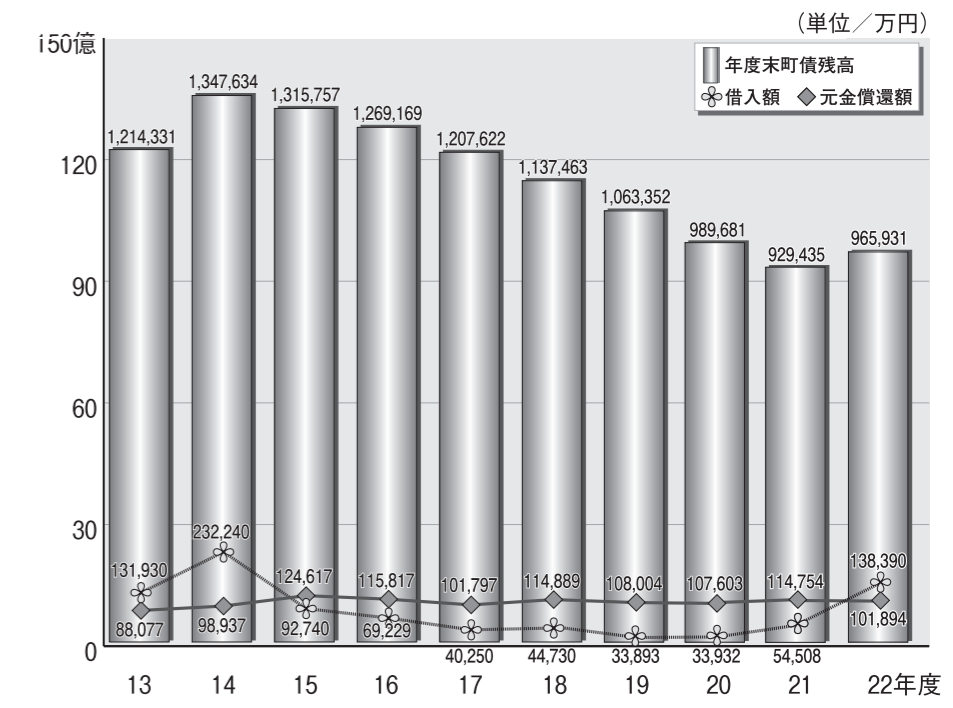
区分	22年度				21年度		比較	
	当 初 予 算	上 半 期 における 補 正 額	下 半 期 における 補 正 額	最 終 予 算 額 (A)	計	最 終 予 算 額 (B)	(A-B)	増 減 率 (%)
国民健康保険特別会計	111,027	114	8,055	119,196	119,196	115,880	3,316	2.9
老人保健特別会計	22	22	0	44	44	1,214	△1,170	△96.4
介護保険特別会計	66,706	446	413	67,565	67,565	62,703	4,862	7.8
後期高齢者医療特別会計	8,908	0	△318	8,590	8,590	8,621	△31	△0.4
温泉事業特別会計	5,632	0	857	6,489	6,489	5,893	596	10.1
下水道事業特別会計	54,099	0	△1,223	52,876	52,876	64,669	△11,793	△18.2
計	246,394	582	7,784	254,760	254,760	258,980	△4,220	△1.6
水道事業会計(企業)	26,288	305	148	26,741	26,741	28,777	△2,036	△7.1

6つの特別会計の最終予算総額は25億4,760万円で、前年度と比較すると額で4,220万円、率で1.6ポイントの減となりました。

老人保健制度から後期高齢者医療制度への移行により、大幅な減額となっています。

また、水道事業会計(企業)の最終予算総額は2億6,741万円で、前年度と比較すると額で2,036万円、率で7.1ポイントの減となっています。

# 町債の借入額と残高の推移



町債とは、国や郵政公社、金融機関などといった第三者から資金を借り入れるもので、長期に渡って償還(返済)しなければならない町の借金です。

町では、公共施設の建設事業を行う場合などに町債を借り入れて事業の推進を図っています。その残高はグラフを見ても分かるとおり、22年度では弟子屈中学校改築事業や道の駅建て替え事業など大型事業による町債の借入れがあり、前年度に比べ約3億6,000万円増となりました。ただし、その残高はすべてが町の負担となるわけではなく、償還した元金と利息の約50%が、町の収入の大部分を占める地方交付税の中に含まれて戻ってくることとなります。

## 山田氏・江崎氏が高校で講演

弟子屈高校(宮嶋衛次校長)では5月16日、総合的な学習の二環として、4回目となる観光講座を開講しました。観光講座は3年生を対象としたカリキュラムで、約60人が受講しました。

講師は、町の観光まちづくりアドバイザーである山田桂一郎さんと、三重県鳥羽市でエコツアリズムをリードする「海島遊民くらぶ」代表の江崎貴久さんで、観光に関わる地域の魅力について話しました。

山田さんは、生徒が授業で着地型旅行造成を手掛けていることから「今だけ、ここだけ、あなただけ、てしかがならぬ」というポイントとなる「アドバイス。江崎さんは、鳥羽市で活躍している高校生ガイドを紹介するとともに、大自然に恵まれた当地の観光について「地域の豊かさや素晴らしさを再発見することが大事。お客さまや住民みんなが「感心(かんごう)」を目指して頑張ってほしい」と話し、激励しました。

同校ではこうした取り組みを通して、今回で3回目の開催となる「観光プランコンテスト」『観光甲子園(同実行委員会主催)へのチャレンジを予定しています。

## 今年度は震災の復興支援

来年度5月31日の1年間展開しています。

リストバンドを購入して腕にはめている人には、事業に賛同して参加している町内事業者(約80事業者など)で、さまざまな特典が用意されています。

リストバンドは、同社で500円(小学生以下は300円)で販売。収益のうち1個当たり20円を、東日本大震災の復興支援に充てて寄付します。

お問い合わせは、(株)ツーリズム てしかがえ 48832101まで。



白(下)が大人用、オレンジ(上)が子ども用